

看護学科長挨拶

新実絹代

◆看護学科の教育

- 教育目的
- 育てたい卒業生の特性と能力
- 看護大学生としての基本的態度の育成

◆後期の学科運営

◆後期に向けた各学年の取り組み



近代看護の先駆者

F.Nightingale(1910 年90歳没)

看護学科の教育目的

看護師として必要な専門的知識と実践能力を身につけ、他の医療関係職種と連携・協働して、地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することのできる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針) カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

1. 創造的思考力

- ・看護学分野の基本的知識、技術を応用・発展させ
問題解決でき新たな価値を創造
- ・専門職としての責任を自覚し自律的に課題解決

2. チームワーク

- ・チーム医療の中で連携、協働し看護の役割を果たす
- ・看護師としての職業倫理を理解し実践

3. 基礎学力

- ・専門分野における基本的知識、技術、態度の修得
- ・看護師としての素養として人間、社会、多様な文化の理解

育てたい卒業生の特性と能力

育てたい卒業生の特性

抽出した能力

1. 人間の生命の尊厳を守り、対象者の立場を尊重する行動や態度をとることができる
2. あらゆる健康レベルにある人のQOLを高めるために、看護倫理や技術を応用して援助できる
3. 看護の対象と援助的人間関係を形成し、相互行為を行いながら看護を実践できる
4. 保健医療システムの中で看護専門職としての責務を認識し、チームの一員として、多職種と協働できる
5. 生じている現象に深い関心を寄せ、科学的根拠に基づき、柔軟な思考力を発揮して、積極的に問題解決に取り組むことができる
6. 看護専門職として、自分自身を貴重な資源として最大限に生かせるようにセルフマネジメントができる

「人間の尊厳」
「倫理」
「対人関係」
「多様性理解」
「問題解決力」
「論理的・創造的思考力」
「自己認識力」

2022年度～看護学科カリキュラムマップ

看護専門職の役割・責務

連携・協働

人間の発達段階と 看護活動

人間の尊厳、倫理、対人関係、多様性理解
問題解決力、論理的・創造的思考力
自己認識力

地域における 看護活動

人間の尊厳、倫理、対人関係
多様性理解、問題解決力
論理的・創造的思考力
自己認識力

看護の基本

人間の尊厳、倫理、対人関係、多様性理解、問題解決力、

論理的・創造的思考力、自己認識力

健康支援と 社会保障制度

人間の尊厳、倫理、対人関係、
多様性理解、問題解決力、
論理的・創造的思考力、自己認識力

人体の構造と機能 疾病と回復促進

人間の尊厳、倫理、対人関係、
多様性理解、問題解決力、
論理的・創造的思考力、自己認識力

科学的思考の基盤、人間と生活・

人間の尊厳、倫理、対人関係、多様性理解、問題解決力、

社会の理解

論理的・創造的思考力、自己認識力

看護
マネジ
メント

看護
実践
力

看護を学ぶため
の基礎学力

看護大学生としての基本的態度の育成

	1年次	2年次	3年次	4年次
責任役割意識	看護大学生としての自覚がもてる。	看護大学生としての責任・役割を意識した行動がとれる。	看護大学生としての責任・役割行動がとれる。	看護専門職の責任・役割行動がとれる。
セルフマネジメント	健康管理ができ履修に支障をきたさない。	ルール、約束を遵守し、責任ある行動がとれる。	ストレスコーピングをポジティブに行い物事に取り組める。	看護職に必要な自己コントロールができる。
コミュニケーション	対人的マナーの基本に基づいた行動がとれる。	アウトプットコミュニケーション、インプットコミュニケーションができる。	学生間、関係者間で情報共有し、目的に沿った意見交換ができる。	学生間、関係者間での連携、協調ができ相互啓発ができる。
看護観・倫理観	看護の機能や役割が明確にできる。	看護師に必要な資質や能力が明確にできる。	看護実践における看護職の役割・責任が明確にできる。	目ざす看護師像、自己のキャリア設計が明確にできる。

後期に向けた学科の取り組み

- 授業についてはコロナ感染防止策を徹底し、対面授業で実施
看護学教育の特性上、対面での授業が重要となるとの考え方
- 臨地実習は、感染防止を徹底した上で受け入れ施設の状況により実施
感染しない・感染させない、2週間前の健康管理行動が重要となる
- コロナワクチン予防接種は、臨地実習では実習要件となっている施設もあるため
推奨している
- 臨地実習前にPCR検査を求められる施設が多いが、大学予算で対応している

後期に向けた各学年の取り組み

1年次生：前期基礎看護学Ⅰ実習を終え、後期は専門基礎、専門科目↑
形態機能学⇒疾病と治療⇒看護学につながる
看護大学生として学びの姿勢、
毎日の学習習慣、学習時間が重要となる

2年次生：基礎看護学Ⅱ実習(12月)、専門科目↑
初めて患者さんを受け持ち看護実践⇒知識・技術・態度とともに、
乗り越える力(レジリエンス)が必要となる

後期に向けた学科状況と各学年の取り組み

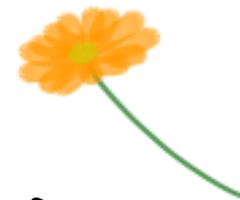
3年次生：9月～2月の長期臨地実習開始

連続実習となり、健康管理、学習時間の確保が重要

高い目的意識の元、継続的な努力が必要とされる

4年次生：看護研究発表、国家試験受験、進路決定と卒業準備

- 国家試験合格は、学習の積みかさね、臨地実習での判断力が問われ受験まで地道に取り組むことが重要
- 就職内定した時点で、就職先に対する責任が生じている
- 4月1日から社会人、新卒看護師、新卒保健師としてスタートできるように卒業後も自重した生活が必要



- ・看護の仕事は、
「人々が健康的な生活を営み、その人らしく生きることを支援すること」です。
- ・専門的な知識・技術とともに、他者を思いやる気持ちや優しさ等
人間力ともに多くの能力が求められます。
- ・4年間の学習は、ハードルが高く努力を要しますが、それをクリアされた時には、大きく成長されることと思います。
- ・学生の皆さんが、前向きにハードルに向き合えますように
保護者の皆様の暖かくも厳しいご支援をお願い致します。